

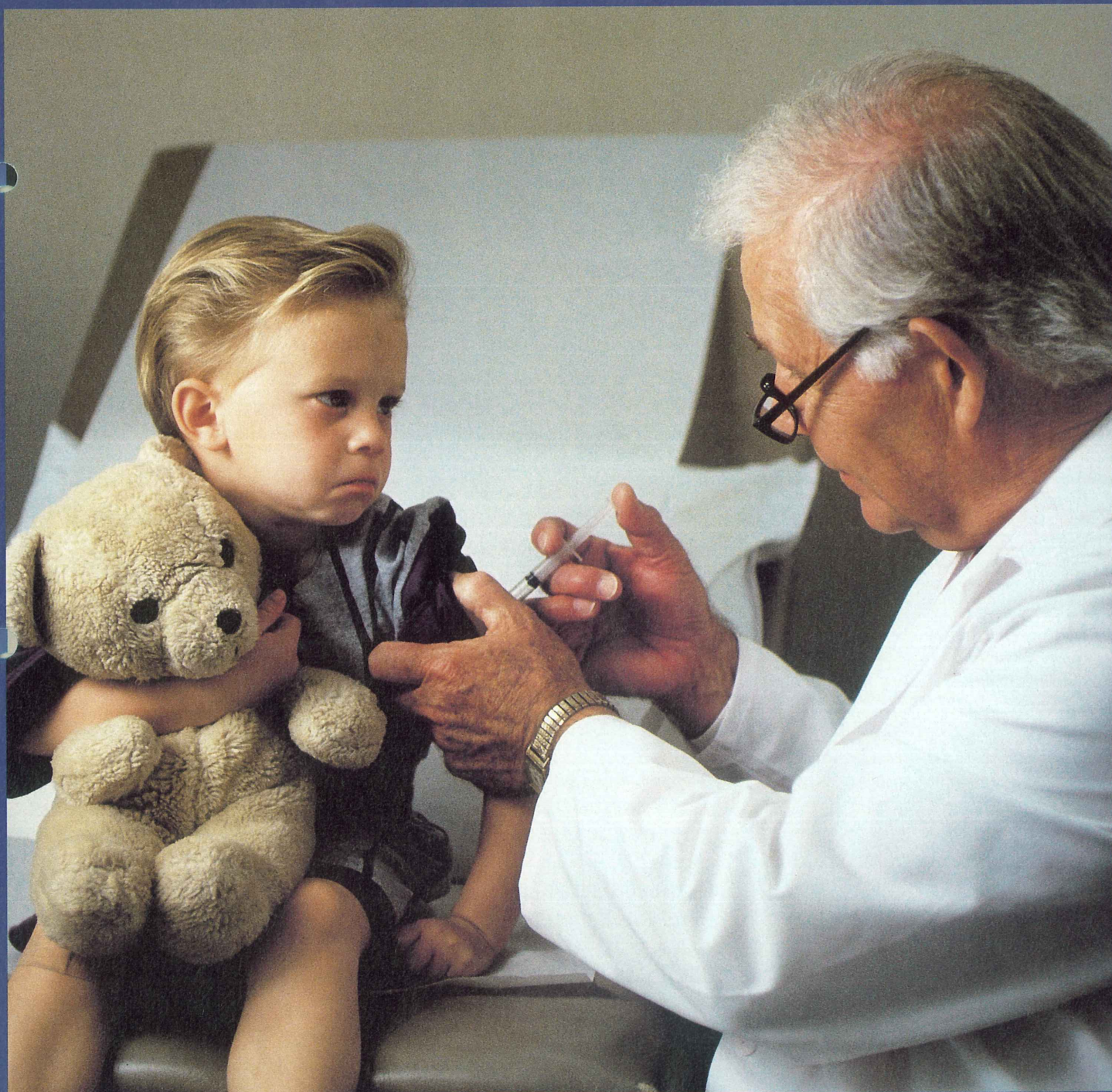


ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998-'99

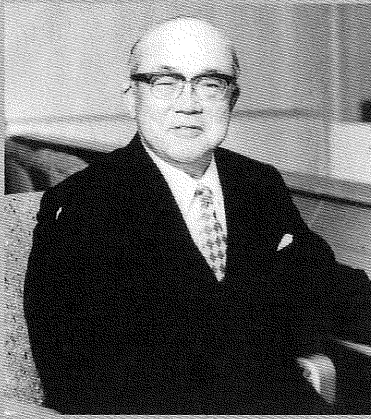
国際ロータリー第2760地区 ガバナー 内藤 明人
事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25 ホテルキャッスルプラザ1402号室
TEL052-581-2020 FAX052-581-1133



ロータリークラブの人たち「職業奉仕」が大切にシテイルンダッテ。
オ医者サンモ ソウナンダネ。 ダケド・・・「ショクギョウホウシ」
ッテ痛インダネ。 デモ ボク泣カナイヨ

1998.9.20 No4 職業奉仕・米山月間

本誌は、環境にやさしい再生紙を使用しております。



職業奉仕月間と 米山月間によせて

1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区
ガバナー 内藤 明人

10月は職業奉仕月間です。

職業奉仕はロータリアンが各職業を代表して入っている以上、4大奉仕の中でも重要な活動であります。

職業奉仕はロータリークラブとクラブ会員双方の責務において行われ、ロータリアンがその職業上のあらゆる関係においてすべての人々に対して、即ちロータリアンでない人等も含めて奉仕の理想を分かち与える責務の事といわれています。

その奉仕の理想とは、「四つのテスト」がその指針となります。即ち、

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

実行はこれらに照らしてから行うべきであるといわれています。

今、日本経済が大変な危機に陥っています。これは日本の職業人、即ち実業家も官僚も政治家も自分の立場だけを考え、その場限りで相手のこと、社会のこと、次の時代のことを考えない無責任な結果であり、ロータリアンの奉仕の理想に照らしてなかったためとみてもよいでしょう。

我々ロータリアンは企業の経営者、管理者、技術者、各団体の指導者、自営者、芸術家等々、いろいろな仕事をしている方々からなっており、ロータリアンにとって大切なことは模範的な職業人であること、即ちそれに向かって努力することが大切だと思います。

一方クラブによる職業奉仕は2年程前から国際ロータリーの理事会により、強調されました。その内容としては

- (A) ①クラブとして職場の文化的生活環境基準を高めるプロジェクト
②働く人の可能性を開花させるよう力を貸すプロジェクト
③あらゆる有用な職業の価値を高めるプロジェクト

(B)クラブに就職相談、職業指導、職業情報、職業活動表彰、ロータリーボランティア等小委員会設置

これらのプロジェクトや小委員会の活動を推めております。

10月の今一つの重要な課題は米山月間です。

米山記念奨学会は、今、日本のロータリアンの寄付金を財源とする在日外国人留学生のための民間最大の奨学団体です。

米山梅吉翁は大正9年(1920年)日本最初の東京ロータリークラブを創設されました。

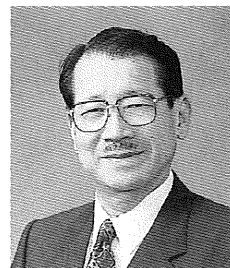
昭和28年(1953年)にその功績を記念して東京ロータリークラブ「米山基金」が発足し、後に同42年(1967年)「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立され、今日に至っております。

私ども第2760地区でも毎年大勢の応募者があり、本年度はそこから57名を奨学生としてお世話することになりました。

先日でも当地区の米山奨学生だった方から手紙が来て、その方は現在中国政府要人になっておられる方で、米山奨学金のお陰でよく勉強が出来、今日の地位になれ心から感謝していますという内容でした。

今後とも米山記念奨学会に対し、一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

職業奉仕の質を高めるには



職業奉仕カウンセラー・パストガバナー 松本 宏

職業奉仕の質を高めるためには、先ず「職業奉仕の基本原則」を正しく理解する必要がある。

ロータリーは、人類文化史が20世紀に考え出した職業人の最も優れた倫理運動であると云われている。

1905年ポール・ハリスがロータリークラブを創生して、その後先人ロータリアンが、幾多の試練と試行錯誤を重ねながら、現在のロータリーの原理体系を築き上げたのである。現代のロータリー活動を正しく認識し、実践して、これを次の世代に伝承していくためには、先人ロータリアンが残してくれた、さまざまな知恵と理論を学ばなければならない。それには先ずロータリーの歴史を学ぶことが必要である。

職業奉仕という言葉は、ロータリーの専門用語で辞書にも記載されていない。職業とは、我々が生きて行くための所得獲得の手段であって、これは自分のためのものである。一方、奉仕とは、世のため人のためのもので、他人のためのものである。このように、エネルギーの方向が全く正反対の二つの言葉を、一つに合体させて職業奉仕としたのである。「利己と利他の調和」というロータリー哲学が職業奉仕の理論を生み出したのである。

ロータリー史研究家の深川PGは「愛情の世界の考え方をもって打算の世界をコントロールして行なう」という考え方が職業奉仕の根本原理である。ロータリーの職業奉仕を正確に理解するためには、職業奉仕という考え方や言葉が、ロータリーの世界において生まれ育ってきた歴史を顧みる必要がある。」と述べておられる。

1915年のサンフランシスコの国際大会で採択された「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」(一名「ロータリー道德律」とも云う)の根底に流れる指導理念は、「愛」だといっているのである。このロータリー倫理訓は11条からなるドキュメントで、これを守れば職業倫理は向上する。職業人はこうしなければならないのだということが全て網羅されている。しかし1951年には、ロータリーのあらゆる文書からその姿を消してしまった。その理由は、その内容の厳しさと宗教色にあるといわれている。

ロータリーの綱領の第2項に述べられている責務は、ロータリーの職業奉仕の基礎を成すものである。ロータリー

の綱領は、多年にわたり文言を変えてきたが、第2項の内容は、草創期からあり、1912年の国際大会で五項目からなる綱領が採択されたとき、その二つは、職業倫理に関するものであった。

1910年ロータリー最初の大会で、アーサー・シェルドンが、“he profits most who serves his fellows best”(最もよく仲間に奉仕する者は、最も多く報いられる)と発表した。后年この言葉は短縮され“He Profits Most Who Serves Best”(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)となり、ロータリーの公式標語の一つに採用された。

もう一つは、1932年ハーバー・テラーが、倒産寸前の会社を救済するように要請され、その会社の経営指針として創案した「四つのテスト」であった。①真実かどうか。②みんなに公平か。③好意と友情を深めるか。④みんなのためになるかどうか。1950年から、ロータリアンは、自分の事業と個人生活の両方における言行の尺度として「四つのテスト」を使用している。「決議23-34」については、ロータリー活動全般を対象とした内容で精読すべきものである。

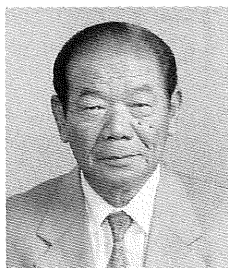
1989年規定審議会は「職業宣言」を採択し、綱領で求めている高度の道德的水準を具体的に説明した。

ロータリー史の最初から80年間以上の歩みにおいて、職業奉仕は、主としてロータリアン個人の責務とされてきた。しかし、1987年になると、RI理事会は、職業奉仕の規模を拡大して、クラブと一人ひとりの会員の共に負う責務とした。

1911年「The National Rotarian」創刊号に、ポール・ハリスは、「Rational Rotarianism」(合理的ロータリアニズム)と題する論文を掲載し、その中で「ロータリーは、寛容の中に宿る」と述べている。ロータリーには、「serves above self」とか「serves not self」など、色々なニュアンスを持つ思想があるが、それぞれの思想を、お互いに寛容の心を持って、学び合う姿勢が大切であると思う。

RIの職業奉仕の活動が、時代の推移と共に、少しずつ変化して来ているように感ずるが、ロータリーの原点を逸脱しないように、高い職業倫理を維持しながら、職業奉仕の実践にあたることを期待するものである。

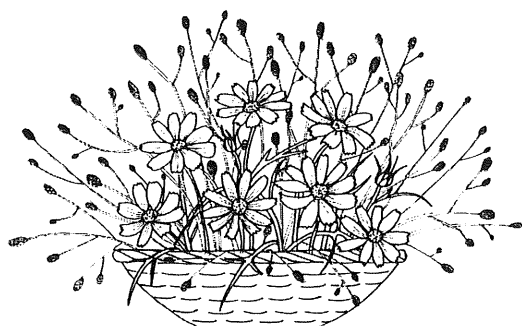
職業奉仕月間によせて



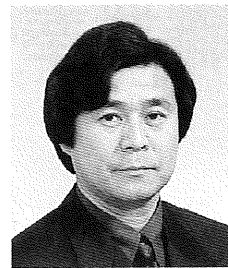
地区職業奉仕委員会委員長 杉原 彦三郎

10月は職業奉仕月間であります。これを機に一層の職業奉仕を理解し、又どのように研鑽をすべきか、取り組んでいただきたいと思います。私が考える職業奉仕感について申し上げます。まず第一に職業奉仕の本質を理解する。綱領の第二項に職業人としての道徳的水準を高めることを第一とし、自己の職業を正しく行うことを示しています。第二に人間の世界にそれぞれの職業がありそれが社会存立の基盤になっている。従って他人の職業を尊重すること。第三は各ロータリアンは自分の職業に誇りを持ち、総ての人々が喜んでその仕事ができる社会を実現することを表しています。綱領第二項は職業奉仕の本質を示していると理解すべきであります。第二に四つのテストを理解する。具体的に職業奉仕を実践に移すにはいろいろの方法がありますが、各種の企業又専門職の方々にも簡単で一番理解しやすいのは「四つのテスト」であります。職業奉仕活動を実行しようとするときによい指針となります。第三に企業のレベルアップを高めて企業の永続性につとめる。現在出口の見えない経済不況が続いております。この不況を乗り越えて21世紀に生き残らなければならないと思います。そのためにどうすべきか、自分の企業を守るための努力をする。これも職業奉仕の第一歩であると考えております。

最後に職業奉仕はロータリーの原点であることを再認識し、積極的な活動をお願い申し上げます。



米山月間によせて



地区米山奨学委員会委員長 加藤 凱也

毎年10月は、米山月間として、特に米山奨学事業の意義を強調し、会員の奉仕意欲の高揚によって、ますます事業の発展を期するためのものです。

本年5月に開催されました地区協議会において、各クラブ米山奨学委員長の皆さんには、(財)ロータリー米山記念奨学会の事業内容について詳しくご説明申し上げました。更に9月23日には「米山カウンセラー会議と奨学生との懇親会」を、30日には「クラブ米山奨学委員長会議」を開催し、それぞれ米山月間に対する準備を致しました。また、月間に先立ち、各クラブに配布される平成9年度の事業報告書には財務、寄付金、奨学生状況について詳細に報告されています。是非ご一読、ご利用下さい。

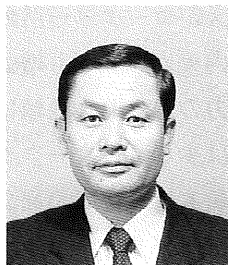
本会は、1952年に日本ロータリーの父であり、東京RCの創立者である米山梅吉氏の功績を記念して創設され、'58年にロータリー米山奨学委員会として8名の奨学生を採用して以来40年、現在では年間1,100名(通算14,051名)を採用するに至り、日本最大の民間奨学金団体に成長致しました。これもロータリアン一人一人の深いご理解、暖かいご支援とご奉仕によって達成されたものと思います。

平成9年度の米山奨学会への寄付額は、普通寄付金5億2千3百万円(前年比2.0%増)、特別寄付金15億2百万円(同比4.3%減)、合計20億2千5百万円(同比2.7%減)、また会員一人平均寄付額は15,662円(同比2.1%減)と、年毎に奨学生が増加するのに対して、寄付金が初めて減少しました。一方、当地区の状況は普通寄付金2千4百万円(同比7.1%増)、特別寄付金7千7百万円(同比5.4%増)、合計1億百万円(同比5.8%増)、会員一人平均寄付額は15,778円(同比5.0%増)と全国平均に達することが出来ました。厚くお礼申し上げます。しかしながら、当地区の留学生数を考えますと、今年度は一人平均寄付額17,000円達成を目標に、何卒一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

米山月間によせて

地区米山学友会(小)委員会

委員長 堀田 能正



昨年6月、かつて全国で米山奨学金を給付された奨学生で、現在愛知県に在住する元奨学生の方たちの会『米山奨学生学友会(愛知)』が加藤凱也委員長の努力により発会し2年目を迎えました。

平成10年7月11日、第2回総会並びに新入会員歓迎会が内藤明人ガバナーをはじめ地区米山委員会関係者多数、現会員、新入会員20名を迎えて盛大に行なわれました。

議事は、議長に選出された会長のクネヒト・ペトロ氏(南山大学人類学研究所、スイス)の進行で、'97年度事業及び収支報告、'98年度事業計画及び予算について

て議案が承認。新役員として副会長に徐元一氏(日清紡績メカトロニクス、台湾)、親睦幹事のウーラ・モハメット氏(インターコンチネンタル、バングラデシュ)と周玉氏(ファイザー製薬、中国)が紹介されました。

何年も世話クラブと連絡が途絶えていた学友が、友達の誘いにより参加したり、日本に留学して米山奨学金の受給とカウンセラーの温かさが大変現在の自分の励みになったこと、期間終了後、博士号を取得できた学友の喜び等が会場内を盛り上げられました。

2760地区の学友会員は90名。準会員(現米山奨学生)57名、特別会員(地区米山委員会関係者)17名です。

学友会の活動内容は昨年、設立総会、役員会7回、園遊会参加、祭り見学会、クリスマス会、新年会、歓送会が行なわれました。本年は地区大会にも参加して頂き、皆様との再会を楽しみにしております。又、学友会の活動が自主自助の運営となるよう支援、育成して行きたいと思います。

委員長会議報告

第一回地区環境保全 委員長会議報告

日時/1998年7月14日(火)

場所/ホテルキャッスルプラザ



地区環境保全(小)委員会委員長 杉浦 恵造

7月14日キャッスルプラザに於いて、内藤ガバナー、加納カウンセラー御出席のもと講師にケンブリッジ大学土地経済学部長のイアン・ホッジ博士をお迎えして、本年第一回の環境保全委員長会議が開催されました。

講演に先立ち情報交換が行われ、豊橋5ロータリークラブ共同製作のゼロエミッションについてのVTRが上映されました。

続いてイアン・ホッジ博士の講演が行われました。博士は環境問題には化学も社会科学も必要であり、人と人との繋がりの欠如から起こるものであり、地域を

同じくする住民のみならず、同じ目的を持つ人々が地域の人達を啓蒙することが大切であると話されました。

最後に加納カウンセラーが環境保全は、そこに暮らす人々が如何に自分の生活環境を汚さないですますか、又他人に迷惑を掛けないですますかの一言に尽きと思う。ロータリアンは身を犠牲にしたハンドサービスを行うのも一つの社会奉仕であるが、社会の指導的立場にある人達は社会の中で如何に自分の環境を取り巻く人々に自分の正しく信ずることを伝え、地域社会のレベル向上に努めるべきだと思う。と講評され閉会致しました。



地区拡大委員会 (報告)

日時／1998年7月4日(土)

会場／ホテルキャッスルプラザ



地区拡大委員会委員長 森岡 秀夫

7月4日内藤ガバナー、岩間幹事、小林副幹事、松本、犬飼両カウンセラー、加藤南尾張分区代理、森岡、浅野、高須委員9名の出席で、キャッスルプラザにおいて最初の委員会を開催する。

森岡委員長の司会挨拶で始まる。何分委員として一年を経験したのみで、地区内の状況が充分把握できていないが、昨年2～3ヶ所が話題に上ったのでその点について話を進める。昨今の社会現象は非常に厳しくも、会員増強は3%の目標を達せられたが、都市部に多く名古屋地区での拡大が望めるが、岩間幹事より市内には既に(22)クラブがあり、過密状態で他所での拡

大がロータリー活動の意義も大きいのではないかと、又内藤ガバナーも増強拡大はロータリー活動の発展、活力の源で遍く地域に広めることに意義があり、今年度は少なくとも一クラブの設立目標を建ててほしい、又松本氏も何周年記念事業の一つとして、拡大に各クラブが努力されん事を要望される。

他に加藤分区代理(東知多クラブ)より大府市の問題について、テリトリー内のこと故努力するとのこと。又高須委員より一色クラブの当面の実状など述べられ、種々懇談の上解散する。



地区青少年活動 委員会(報告)

日時／1998年7月8日(水)

会場／国際サロン



地区青少年活動委員会委員長 坂本 康信

去る7月8日(水)毎日ビル「国際サロン」において第1回地区青少年活動委員会を開催。内藤ガバナー、岩間地区幹事、池田分区代理、鈴木地区副幹事の臨席のもと、福田青少年活動カウンセラー(パストガバナー)を始め10名の委員全員参加で鶴田副委員長の司会により進められた。

議題は、(1)地区青少年活動の方針・スケジュール・予算、(2)インターアクト・ローターアクト・ライラの方針・スケジュール・予算、特に今後IA・RAの予算について検討を要する。(3)第1回地区青少年活動

委員長会議の企画、特にできるだけ多くの委員長の情報の提供をいれる。(4)ガバナーのメッセージと新企画提案。今年度ガバナーは、方針に新世代に大いなる光を照らそうを掲げられ、新世代の育成をめざして、

『青少年の物づくりの体験』を提案され、その開催を是非青少年活動委員会において推進いただきたい要請があり、種々検討の結果お引受致すことになる。具体的には、青少年活動委員会と地区幹事と協力して企画委員会を開催して準備をし、8月26日(水)に開催される地区青少年活動委員長会議において、ガバナーより企画を発表されることになる。



第1回地区職業奉仕 委員会会議議事録

日時／平成10年7月14日(火)

会議／14:00～16:00

場所／ホテルキャッスルプラザ

4階「菊の間」

地区職業奉仕委員会委員長 杉原 彦三郎



地区職業奉仕委員会 会議次第

1. 開会のことば 地区職業奉仕委員会委員長 杉原彦三郎
2. ご出席者紹介 地区職業奉仕委員会委員長 杉原彦三郎
3. ガバナー挨拶 地区ガバナー 内藤 明人
4. パストガバナー挨拶 地区パストガバナー 松本 宏
地区職業奉仕委員会カウンセラー
5. 協議事項

(1) 地区内各RC職業奉仕委員長会議の招集について

イ. 日時 平成10年8月25日(火)

受付 15:00～15:30

会議 15:30～17:30

場所 ホテルキャッスルプラザ3階「孔雀の間」

(2) 行事内容

イ. 講演「職業奉仕の理念と実践」をテーマに
名古屋港ロータリークラブ直前会長 関口宗男君

ロ. 各RCの職業奉仕活動の発表

クラブ毎に発表者8名

ハ. 職業奉仕委員会の地区活動状況について

地区職業奉仕委員会委員長 杉原彦三郎

ニ. 講評 地区職業奉仕委員会カウンセラー 松本宏

6. 閉会のことば 地区職業奉仕委員会委員長 杉原彦三郎

[出席者]

内藤 明人 ガバナー

松本 宏 パストガバナー・地区職業奉仕委員会カウンセラー

岩間 俊夫 地区幹事

小林 伸 地区副幹事

杉原彦三郎 地区職業奉仕委員会委員長

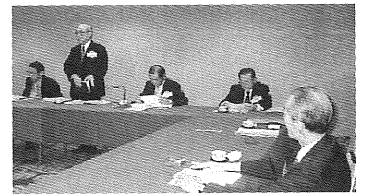
荒木 巖 地区職業奉仕委員会副委員長

近藤 徹 鈴木 省三

大西 松夫 安田 正雄

中根 義郎 伊藤 裕之

以上6名地区職業奉仕委員



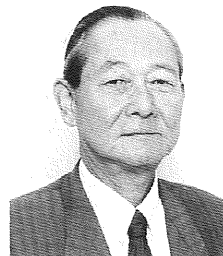
地区広報委員会

(報告)

日時／平成10年7月24日(金)

午後2時～3時30分

場所／ホテルキャッスルプラザ3階「亀の間」



地区広報委員会委員長 長尾 喜久男

- | | | |
|-----|-------------|-------|
| 出席者 | 地区幹事 | 岩間 俊夫 |
| | 地区担当副幹事 | 鶴飼 治昭 |
| | 地区広報委員会委員長 | 長尾喜久男 |
| | 地区広報委員会副委員長 | 福井 恒雄 |
| | 地区広報委員会委員 | 中野 靖子 |
| | 地区広報委員会委員 | 竹倉 健治 |
| | 地区広報委員会委員 | 羽田 育哉 |
| | 地区広報委員会委員 | 渡辺 信義 |

オブザーバー 中部経済新聞社 伊藤博編集委員

開会にあたり岩間地区幹事が「当地区ではロータリークラブをはじめローターアクトクラブ、インターアクトクラブなどもしっかりと根付き、活発な活動をしているが、ま

だ一般によく理解されていない面がある。内藤ガバナーの方針を踏まえて展開される今年度の地区内におけるローター活動を新聞、テレビなどを活用して積極的に広報し、地域市民の皆様の理解を深めるようにしてほしい」と挨拶した。続いて「ロータリークラブ・コーナー」欄を設けて地区行事や各クラブの活動状況などを新聞紙上に毎日掲載、報道している中部経済新聞社の伊藤編集委員から取材、報道の現状や各クラブからの同欄の活用方法などについての説明を聞いた。この後、意見交換を行い、各クラブの積極的な広報活動を推進するため、9月2日午後2時30分から名古屋駅前の毎日ビル9階、国際サロン「レインボーサロン」で内藤地区ガバナー、岩間地区幹事らも出席して地区内全クラブの広報委員長会議を開催することになった。



第1回地区米山奨学・ 学友会(小)合同委員会 (報告)

日時／1998年7月28日(火)

場所／ホテルキャッスルプラザ



地区米山奨学委員会委員長 加藤 凱也

7月28日(火)午後4時より、ホテルキャッスルプラザ4階において、地区ガバナー内藤明人氏、(財)ロータリー米山記念奨学会理事田中徹氏の出席のもと、第1回米山奨学・学友会(小)合同委員会が開催された。はじめに、内藤ガバナーより米山記念奨学会の事業は日本独自の素晴らしい奨学事業であるとRIも高く評価しているとの挨拶があった。続いて両委員会委員の自己紹介が行なわれ、その後会議に入り、田中理事より米山カレンダーの説明と6月理事会の報告を中心に、奨学生の増加に対し、寄付金が昨年度は減少したこと。また、'98学年度の奨学生が1,100名で当地区では57名採用されたが、'99学年度の募集から大学推薦制度と新割当方式の実施により、40名に減少するとの説明があった。その後、加藤委員長より本年度の年間スケジュール

について資料を添えての説明があり、特に今年度の目玉として4月に竣工した米山梅吉記念館・新館の見学会については詳しく検討され、担当委員を選任して進めることになった。

また、両委員会及び委員の役割分担を明確にし、委員全員の協力のもとでより充実した行事を実施したいとの方針があり、さらに(小)委員会への引継ぎとして、学友記録簿の新規作成と継続管理及び奨学生学友会の活動が自主自助の運営となるよう支援・育成することを申し送りした。最後に、特別出席していただいた前委員長の小田氏より、永年の委員会経験をもとに総括的な留意事項について話があり、新委員が真剣に聞き入る中、岩間地区幹事の閉会のことばで会議を終了した。



第1回地区ロータリー 財団合同委員会(報告)

日時／1998年8月2日(日)

場所／毎日ビル国際サロン



地区ロータリー財団委員会委員長 矢島 茂

午前10時から2時間、内藤ガバナー、野村ガバナーノミニ、財団担当の田中西尾張分区代理と藤本地区副幹事をお迎えし、ロータリー財団・奨学金・学友会・ポリオプラス・GSEの5委員会総員22名が出席し、地区ロータリー財団委員会の今年度方針と寄付目標、年間スケジュールと運営予算などについて審議された。

ユーイズムを広めよう！新世代に大いなる光を照らそう！奉仕の実感を共有しよう！のガバナー方針に則り、DDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)の有効活用をめざし、寄付目標年次寄付会員1人当り110USD、恒久基金会員50名当り1名のベネファクター(以上

前年同額)のほか指定寄付にも挑戦することになりました。

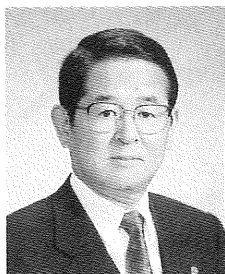
特に、財団奨学生の義務教育を見直し改善すること、ポリオ・プラス・パートナーなどの指定寄付に同額補助金(WF)を活用することを推奨することになりました。地区レベル、クラブレベル共に充実したロータリー財団活動をめざし、会員のご理解と奉仕の機会を広めていただきますようお願い申し上げます。



1999～2000年度 ロータリー財団奨学生 オリエンテーション(報告)

日時／1998年8月2日(日)13:30～16:00

場所／毎日ビル9階国際サロン



地区ロータリー財団学友会(小)委員会委員長 白井 通義

[ガイダンス次第]

1. 開会
2. 地区役員並びに学友出席者の紹介
3. 野村ガバナーノミニエ挨拶
4. 矢島RI財団委員長挨拶
5. ガイダンス
 - RI財団について 矢島財団委員長
 - 奨学金について 三浦奨学金(小)委員長
 - 学友会について 白井学友会(小)委員長
6. 奨学生顧問ロータリアン並びに奨学生自己紹介
7. 財団学友会からのアドバイス
8. 質疑応答
9. 地区役員からのアドバイス及び激励
10. 閉会

1999～2000年度財団奨学生のためのガイダンスが野村ガバナーノミニエ、田中ロータリー財団担当分代理、藤本ロータリー財団担当地区副幹事等地区委員12名と水野教子学友会幹事他4名並びに1年間奨学生9名、マルチ2年間奨学生10名と各推薦RC顧問ロータリアン19名の皆さんの

出席を頂き開催されました。

野村ガバナーノミニエより「大変優秀な皆さんを奨学生として採用出来て大変嬉しく思います。奨学生に選ばれたことに名誉と誇りを持って貴重な機会を大いに生かして下さい。それと共にこの機会を得た感謝の心を失わないようにして下さい。」とご挨拶がありました。

矢島委員長から、ロータリー財団奨学生派遣の仕組みについて具体的な事例を上げて説明があり、「これからが正念場です。自分から積極的に挑戦するよう。途中で諦めて辞退をすることがないように」と励ましがりました。

水野教子学友会幹事らから、「どんな障害があっても決して諦めないように。出発の日には飛行場で航空券を入手することもあります。」と生々しい貴重な体験を語って頂き、活発な質疑応答がありました。限られた時間のガイダンスでしたが、奨学生に採用された喜びと緊張感味わった有意義なガイダンスにすることが出来たと思います。推薦RCの顧問ロータリアンと連携・指導のもとで順調に留学が実現することを願っています。



第1回地区RCC 委員会(報告)

日時／1998年8月4日(火)

場所／地区事務所



地区RCC(小)委員会委員長 川井 健司

平成10年8月4日(火) 12:30～15:00 於地区事務所。
出席者は田中地区副幹事、市田カウンセラー、河村副委員長、前田、平松、遠藤各委員と村野分代理の代理として寺田分代理幹事等8名。

議事は主に来年2月11日開催予定の地区RCC年次大会

(仮称)について、活発な意見交換がなされた。

当面の合意事項は、開催の正式呼称を以後は地区RCC研究会とする。ホストは地区RCC委員会。参加者は内藤ガバナーを始め来賓の方々と地区の全RCの代表、7 RCCの代表者等計110名余。プログラムは本会議、研究会、懇親会(立食)の3本立。

特に本研究会では、内藤ガバナーよりRCC隊員に激励のお言葉を賜わることとし、次いで7 RCC各代表からの活動報告。また地区RCC委員会からの報告として、RCC結成の意義と解説を行い、ロータリアンの方々にRCCへの理解を深めてもらうように努める。

地区行事としては、本年度が初めての試みとなるので、今後慎重に検討を重ねて準備をすすめたい。

第11回インターアクトクラブ 海外研修派遣オーストラリア シドニー研修報告

心に刻む感動体験——ホームステイの魅力を満喫

地区インターアクト(小)委員会委員長 荻本 鐵夫

インターアクトクラブ活動に対する日ごろのご理解ご支援に心から感謝申し上げます。さて、第11回インターアクトクラブ海外研修派遣についてご報告申し上げます。今年度の海外研修は一昨年、昨年に引き続きオーストラリア：シドニーに於いて実施されました。

今回の参加者は、地区内インターアクトクラブ会員から選抜されました36名の会員、団長、副団長の顧問教諭、インターアクト地区委員長に委員、それにビデオ撮影に協力して頂いたロータリアンの総員41名でありました。インターアクトクラブ会員は、男子生徒5名、女子生徒31名でありました。

「ホームステイの魅力」

ホームステイの魅力は、ホストファミリーと生活をともにしながら、文化や生活習慣の違いを肌で感じ、生きた英語力の向上を図ることが出来る点にあります。また文化の違う外国の人々との出会いに感動することも出来ます。

1996年に今までハワイで実施されていました(海外研修)がオーストラリアのシドニーに変えられました。シドニーでの実施は今年度で3回目でありました。

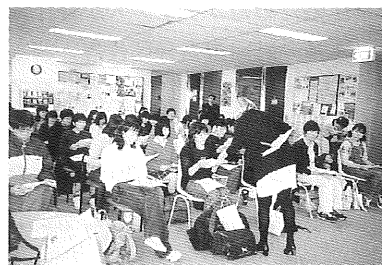
「日 程」

7月25日(土)早朝シドニー空港に到着、出迎えのバスで(ボンダイ・ビーチ、オペラハウス、ロックス)などを観光、市内のレストランで昼食をとり午後、英語学校(SELC)にて英語学習のオリエンテーション、簡単な英会話の練習の後、市内へ出て電車、バス、フェリー等の乗り方を学んだり郵便物の出し方、お金の換え方などを勉強しました。夕方、英語学校SELCまで迎えに来たホストファミリーと初対面し1名ずつ36軒の家庭へ向かいました。

SELCの校長Andrew Thomasは、団長の木村先生とイギリスの学校で同じ教授に授業を受けたとのこと、話が合



▲シドニー到着の日：オペラハウスを背に



▲SELC(英語学校)でマリーから注意事項を聞く



▲スティーブの英会話レッスン

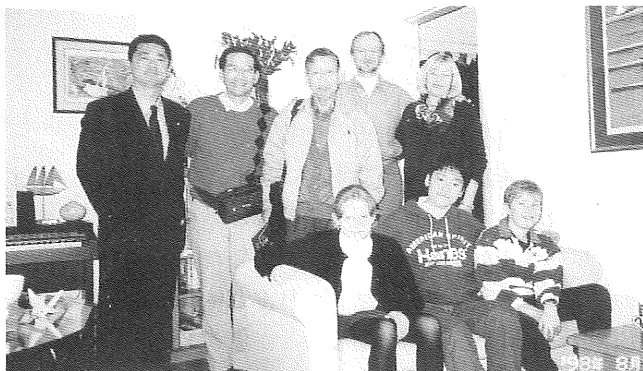
いました。

Olympicに向けて、シドニー市内には建築中のビルが多く見られました。街を走っている車の60～70%は日本車で、値段は日本での2～3倍とのこと、高くても性能に信頼性があり、需要が多いとのことでした。

生徒が英語研修に通うSELCは、都心より少し郊外よりのBondi junction, Every Streetにあり最初は通学がうま

く行くのか心配しましたが、全員よく頑張りました。

7月26日は日曜日で生徒達は終日ホストファミリーと過ごしました。ホームステイは家族の一員として生活を共にするわけで、英語の研修には最高の環境であり生活習慣を肌で体験し、お互いの文化を理解し合う場でもあります。その日(日曜日)は、一日雨が降ったり止んだりのぐずぐずした天候でした。



▲ホストファミリーであり、コーディネーターのMarryの家庭を訪問

この時期はシドニーは晴れの日が多いシーズンですが、今年は27日(月)も「雨時どき曇り」の天候でした。生徒が初めてSELCへ来る日なので、集合時間の8時45分よりも早く行くことにし、指導者5名は8時までにSELCに行き生徒一人一人の登校を見守りました。夕方、生徒の一人がTown Hall駅付近で迷っていたので、副団長の森先生が家庭まで送られました。

7月28日以降は天候も回復し素晴らしい晴天が続きました。生徒一人一人が少しでも良い環境でホームステイを体験することが出来るように木村先生、森先生、それに我々ロータリアンの5名は毎日2時間～3時間話し合いをし、コーディネーターのマリーやSELCの先生に事態の改善を求めました。

「オーストラリアの経済情勢は、良いとは言えないが特に悪いと言うこともない。」と聞きました。但し、観光産業は大きな打撃を受けているとのことでした。日本からの客は2～3%減、但し使う金は20～30%と極端に減っているとのことでした。金融危機の為に、アジア(東南アジア、韓国など)からの人々がピタリと止まりました。シドニーの観光業界では、日本人の取り扱いで収益は急速に低下しているようでした。かつてはヨーロッパ系の言葉が人気があったが、実際の仕事に結び付かないので、日本語、韓国語、中国語に人気が高い。特に日本語は一段と人気がある。

最近のオーストラリアの若者は、他人のことに心配りをしない、自分中心のme-ismが増えているとのことでした。生徒たちは制服で通学し、女子学園でも、校庭や体育館にペタリと座って朝礼をしたり、ランチを食べたりするようであります。

29日(水)は、快晴で風が強く寒い一日でした。ブルーマ

ウンテンは4度で雪の予報。ワイルドライフ公園で動物たちと触れ合いコアラを見て楽しんだ後、ブルーマウンテンへ行くことに決定した。山は小雪交じりで風が非常に強く吹いた。30日(木)午後のフェアウエルランチは取りやめとして、午後はshoppingの時間をとってやりました。



▲交流したMarist Sister's Collegeでジベタリアンで歓談

今回は36名が一人一人別々の家庭にホームステイすることを強調してきましたが、中にはそうでない家庭も2～3あったようなので、その点をコーディネーターのマリーに尋ねました。「一人一家族と言うことは聞いていたので、IAC36名は全員別々の家庭に分けました。別の学生がいてはいけないとは聞いていなかったし、複数の方がコミュニケーションからしてもbetterではないかと思う。」「絶対に他人が一緒ではいけないと言うと、オーストラリアは他民族国家なので、可能ではあるが法律に触れる恐れもある。だからホストに別の生徒を入れてはいけない。」とは言えないとのことでした。また、余り厳しい注文をつければ今後受け入れてくれる家庭がなくなる恐れもあるとのことでした。

現地の女子高校での交流は非常に友好的で国際理解や国際交流に役立ちました。ホストファミリーを交えてのパーティーは誠に和やかで、日本の歌や英語の歌を披露し、特に予定外の(二人羽織り)はキャキャと言って喜ばれました。

8月2日の6時に全員がSELCまで家族に送ってもらいました。まだ暗い町角で殆どの生徒が家族と抱き合って、中には涙を流して別れを惜しむ光景がみられました。いつものことですが、この感動で10日間の苦労が吹っ飛んだ気分になりました。若い生徒さんの心に一生のこる「夢と感動」を与えたインターアクトクラブ第11回海外研修派遣は成功裏に終わったことを報告し、皆様のご協力ご支援に感謝申し上げます。



▲お別れパーティーの開催を待つファミリーやI.A.C.会員

海外研修に参加して

岡崎城西高校 兼子 幸大

僕達36人は7月24日から8月2日までの10日間、オーストラリアのシドニー周辺でホームステイをしました。1人1家族でホームステイすることができたので、日本語を全く使わないで生活するという初めての経験をしました。

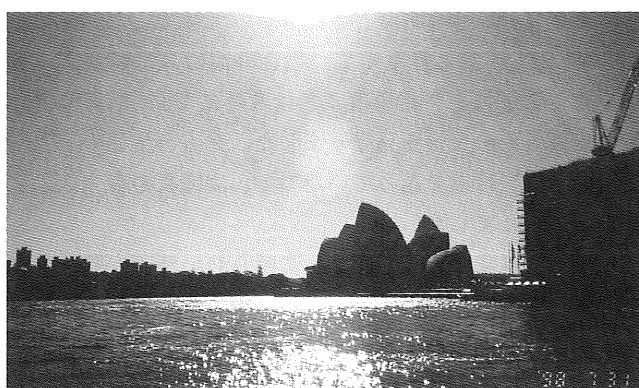
僕は電車通学でしたが、駅には時刻表もなく乗車してからもアナウンスがないので自分で外を見て乗り過ごさないようにしなければならなくて日本との違いにおどろきました。バスに乗る時はバス停に立っていても手を挙げないと止まってくれず、また電車と同じようにアナウンスがない



のでバス通学の人でも大変そうでした。

このホームステイで英語がすごく上達したとは思いますが、会話をする時に必要なのは細かい文法ではなくて単語としゃべりかける勇氣だと思いました。

ホストファミリーと生活して日本とは全く違った考え方や生活習慣があることを知ることができてとても楽しかったです。このような機会を与えてくれたロータリーの皆様ありがとうございました。

[illegible]

千種高校 鈴木 官子

南半球に位置する国オーストラリア。季節は日本と正反対。従って滞在中は冬。だからと言って凍えそうな寒さというわけではなかった。

私達の滞在したシドニーは古い建物をとっておく法律があるらしく見た目がクラシカルだったりモダンだったり、古い建物と新しいビル達が何ともみごとに調和しており、とてもよい雰囲気をかもしだしていた。とにかくお店から道路標識に至るまで、街のどの部分をとっても、すべてがかわいらしく、あたたかい。街ゆく人がみなどことなくのんびりとしていて優しそうで、道をきくのには緊張さえしたものの、まったく不安を感じなかったのも彼らがこういったあたたかな環境のなかに暮らしている人種であるからなのだろうか。

そんなわけでこんな過ごしやすそうな街はとてもホームステイに最適。私達はもうシドニーのとりこなのだ。とに

かく気にいって、本当のことを言うともっと長くホームステイしたかった。とりあえずこの後シドニーのホストファミリーとそこで会ったアンドレに手紙を書こうと思う。「また来ます。」ということを保ちよう。



ガバナーノミニー事務所開設のお知らせ

国際ロータリー第2760地区（刈谷RC）

ガバナーノミニー	野村 重彦
次期地区幹事	内藤 耕造
次期地区会計長	鈴木 孝平
次期地区監事	市川 裕士
次期地区副幹事	井田 稔
次期地区副幹事	加藤 英二
次期地区副幹事	三ッ松芳隆
次期地区副幹事	中村美智雄
次期地区副幹事	神谷 龍司
次期地区副幹事	岡本 戡紘
次期地区副幹事	前田 孝司
次期地区副幹事	高野 基弘

次期地区補佐 鈴木 光彦

次期地区補佐 加藤 哲也

次期地区補佐 近藤 宗義

この度下記の通りガバナーノミニー事務所を開設しました。

所在地：〒448-0843 愛知県刈谷市新栄町3-26

刈谷商工会議所内

T E L : (0566)-29-3551

F A X : (0566)-29-3552

執務時間：9：00～17：00

（土曜・日曜・祝日は休ませて頂きます。

尚、休務日は留守番電話が設置してあります。）

第1回分区代理会議議事録

日時：平成10年8月1日（土） 16：00～

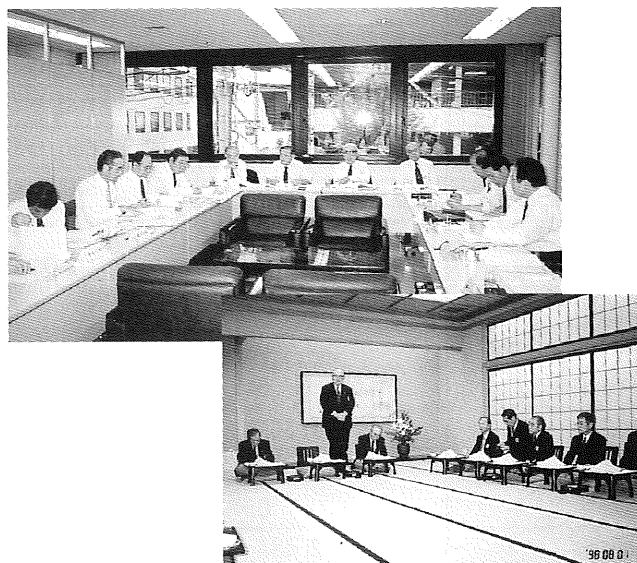
会場：地区事務所・舞鶴館

出席者：内藤ガバナー、岩間、加藤、田中（清）、飯田、春日、上村、来本、村野、池田、藤本、安藤、村瀬、小林、鵜飼、鈴木、児山、田中（義）、天野、吉村、神林

1. 分区代理訪問の際、例会の前約30分、会長・幹事との懇談会を設ける。
2. 黙想は、約20秒で着席のままでよい。
3. クラブ計画書は、ガバナー事務局へ早く送っていただけるよう、再度通達を出す。
4. 11月4日の碧南RC・高浜RCへの公式訪問は、11月11日に変更。
5. 分区内会長・幹事会や、分区内親睦ゴルフ会などの行事が決まり次第、ガバナー事務局へ連絡してほしい。
6. ○○周年行事など、日時が決定したものは、ガバナー事務局・担当分区代理へも連絡すること。
7. 次年度分区代理の選任については、9月中に決めていただく。（地区大会で発表）分区代理の選任方法は、各分区代理に一任。推薦された次期分区

代理をガバナー事務局へ連絡すること。

8. パプアニューギニアの募金の協力依頼などの事項は、今後分区代理に連絡すること。
9. メーキャップカードの発行についてガバナーとの連名でだされた行事、又ガバナー補佐との連名でだされた場合は、メーキャップカードを発行する。
10. 地区大会参加の際の分区代理の祝儀は、1万円で統一する。同伴者のある場合も同じとする。



第1回東三河分区会長幹事会

東三河分区幹事 山本 浩司

・平成10年8月6日（木）午後2時～午後4時

・豊橋グランドホテル7F「楓の間」

議題

事前訪問・公式訪問について

来本分区代理及び児山副幹事より今年度の方針を詳細に互って解説、指導された。



国際ロータリー第2760地区	東三河分区代理	来本 吉郎
国際ロータリー第2760地区	地区幹事	岩間 俊夫
国際ロータリー第2760地区	地区副幹事	児山 國男

ク	ラ	ブ	名	役	職	氏	名	役	職	氏	名
豊橋	ロータリー	クラブ	会	長	佐藤 脩次	幹	事	八木 太平			
								プログラム委員長	上村 健介		
蒲郡	ロータリー	クラブ	会	長	小林 一到	幹	事	鈴木 克明			
豊橋北	ロータリー	クラブ	会	長	村上 博彦	幹	事	安田 賢志			
豊川	ロータリー	クラブ	会	長	大澤 輝秀	副	幹	事	中杉 和雄		
田原	ロータリー	クラブ	会	長	野尻 鈴彦	幹	事	別所 淳二			
豊橋南	ロータリー	クラブ	会	長	水梨 豊三	幹	事	吉野 勝己			
新城	ロータリー	クラブ	会	長	水谷 政義	幹	事	続木 征			
渥美	ロータリー	クラブ	会	長	杉浦 修	幹	事	土井 喜久夫			
奥三河	ロータリー	クラブ	会	長	伊藤 勝實	幹	事	夏目 昭平			
豊川宝飯	ロータリー	クラブ	会	長	伊田 邦男	幹	事	森下 良三			
豊橋ゴールデン	ロータリー	クラブ	会	長	山口 浩三	幹	事	鈴木 正			
田原パシフィック	ロータリー	クラブ	会	長	井上 健	幹	事	尾沢 義雄			
豊橋東	ロータリー	クラブ	会	長	伴野 秀明	副	幹	事	落合 幸一郎		

分 区 幹 事	山本 浩司	川口 雄三	坂柳 猛興
---------	-------	-------	-------

出席者32名

特別寄付報告書（1998年7月分）

第2760地区

財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長 末永 直行

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合 計	件数
渥美	60,000	0	0	60,000	1件
稲沢	1,500,000	0	0	1,500,000	1件
名古屋	0	0	90,000	90,000	3件
名古屋北	0	200,000	0	200,000	1件
名古屋名北	0	30,000	0	30,000	1件
名古屋名東	0	300,000	0	300,000	1件
名古屋瑞穂	0	690,000	0	690,000	23件
名古屋錦	0	100,000	0	100,000	1件
名古屋栄	0	660,000	0	660,000	22件
名古屋東南	0	300,000	0	300,000	1件
西春日井	130,060	0	0	130,060	1件
岡崎	0	160,000	0	160,000	16件
岡崎東	21,119	0	0	21,119	1件
岡崎南	0	60,000	0	60,000	6件
尾張旭	0	150,000	0	150,000	1件
高浜	1,308	0	0	1,308	1件
豊橋	0	1,500,000	0	1,500,000	8件
豊橋北	0	170,000	0	170,000	5件
合 計	1,712,487	4,320,000	90,000	6,122,487	94件

第1回ロータリーの友委員会報告(7月30日)

機関誌「ロータリーの友」のいっそうの普及を

ロータリーの友委員会委員長 種村 桂介

第1回ロータリーの友委員会は、内藤ガバナー、岩間地区幹事の出席をえて、7月30日に開かれました。

『友委員会』の五人体制は長野と分離し、2760地区になって初めての布陣であり、内藤ガバナー年度の『ロータリーの友』重視の表われです。

第1回委員会では、

- (1)『ロータリーの友』誌のいっそうの普及のため、各クラブ雑誌委員会が、月初めの例会で、『友』紹介の時間を5～10分間必ずもつこと。『友』はロータリーの活動の血液であり、血管である。『友』を読むことからロータリー活

動が始まり、ロータリーライフが確立される。

- (2)『全国ロータリー委員名簿』の普及を。各RCで昨年実績を上回る申込みを確保する。2分冊で、郵便番号も記載されている完全な名簿。1998～1999新名簿のとりくみを今から準備する。

- (3)『ロータリーの友英語版』(年2回刊)、『手帳』『ダイアリー』も昨年実績を上回る申込みを。

- (4)『ロータリーの友』誌への投稿を。

エッセイ、俳句、健康一口メモなどは是非積極的に投稿を。など討議し、確認されました。

お詫び

ロータリーの友事務所編集長 浅見 勇

「1998～'99年度 ロータリー手帳」付録の「クラブ定款・細則」につきまして、9月または10月頃、別途送付予定とご案内申し上げましたが、RIでの翻訳の関係で、12月初旬のお届けとなります。

「ロータリー手帳」をご購入いただきました会員の皆様には、ご迷惑をおかけしますこととお詫び申し上げます。

1999年用ノート式日記 ロータリー・ダイアリー

「ロータリー・ダイアリー」は、ロータリアンの皆様が最も使いやすいように編集してある会員必携のノート式日記です。

暦年で編集

ロータリー活動以外の場面でもご利用いただけます。

A5判サイズ

コンパクトサイズなので、システム手帳の代わりとしてカバンに入れて持ち歩けます。

各月のロータリー情報を掲載

各月の初めのページには、松岡通夫PG(1998年RI研修リーダー)にロータリー活動の指針をお書きいただきました。

巻末にロータリー情報を収録

ロータリーとは(誕生と成長・組織と機構など)、ロータリー日本の歩み(小史)、歴代RI会長の指針(RIのテーマ)、国別・RC数・会員数一覧、RI公式機関誌と各国の公式地

域雑誌紹介、ロータリー用語解説、RI出版物日本語版一覧表など。

1部1,000円(消費税・送料別)12月上旬出来上がり予定。ご注文は、ロータリーの友事務所までお願いいたします。

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階

TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956

新ポール・ハリス・フェロー7月分

氏 名	所属R・C
福島 久夫	(常滑)
鯉江 公司	(〃)
山本 一晴	(〃)
稲葉 勝彦	(〃)
木田 吉彦	(〃)
勝谷 哲次	(瀬戸)

パプアニューギニアへ救援金

8月24日内藤ガバナーが愛知県庁を訪れ、日本赤十字社愛知県支部長の鈴木礼治知事に、パプアニューギニア地震・津波被災者への救援金として、地区内全ロータリアンから一人一千円の支援金を募りその合計金額6,003,271円を手渡した。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

黒瀬 源五様(豊川RC) 8月16日

クラブ会長のみなさまへ

RIレイシー会長創設の「未来の夢委員会」が未来の、ロータリープログラム、活動、組織機構について各クラブの提案を募っています。

RI会長のジム・レイシー氏は、21世紀を目の前にして、国際ロータリーとロータリー財団の未来を探るために、世界レベルの委員会と地域レベルの実行グループのメンバー21名を任命しました。ロータリアン並びにクラブに、未来のロータリープログラム、活動、組織機構について提案を出して下さるようお願いします。その提案を世界から集めることになっています。提案は、国際ロータリー会長に提出し、未来の夢委員会が検討します。その報告書をまとめ、国際ロータリー理事会に提出し、立法に関係するものがあれば、次の規定審議会に提出します。

未来の夢については次の分野に重点を置くとよいと思います。

- 平和と世界理解の探求のため、ロータリアンが取り組むべき世界規模の人道的問題。
- ロータリークラブが特に注意を払い、重点を置かなければならない都市部または地元地域社会の問題。
- ロータリー財団の教育的、人道的プログラムに関する追加、変更、あるいは新設。
- 国際ロータリークラブ、地区の機構、組織、方針の変更または改善。
- ポリオ・プラスの終了後、もしあるとしたら、国際ロータリーが考慮する世界的プロジェクト。（例えば、識字

率の向上、水、地雷、エイズ、環境その他)

みなさまからのすばらしいご提案をお待ちしています。

✕ 切日 1998年10月30日

提出先 〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-3-25

ホテルキャスルプラザ1402号室

国際ロータリー第2760地区ガバナー事務所

規定審議会

規定審議会で採択された制定案98-39（標準ロータリークラブ定款第7条第1節(a)の改正）の解説

第7条 出席

第1節(a)-(1)~(5)は変更ありませんが(a)-(6)について次のように変更になりました。即ち「本クラブ理事会承認のクラブ奉仕プロジェクトに出席すること」となりました。ただこの中でいうクラブ奉仕プロジェクト（Club Service Project）の解釈について、諸説があるため、RIのLegal section managerのMark Garavaglia氏に統一見解を求めたところ、次のような回答が得られました。

「Club Service Projectとはクラブ理事会が承認したプロジェクトまたは活動すべてを含むということであり、クラブ理事会が承認する限りプロジェクトの規模や性質は問わず、メークアップとして認められる。但し、地区プロジェクトやクラブの合同プロジェクトはその対象外である」

以上日本サービスセンター翻訳室長片岡暎子さんからの情報です。

文庫通信 131号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えています。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

読んでおきたい本 その2

- ◎「職業奉仕の勘どころ」D.366 1971 93頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「フォアウェイ・テストは前進する」大阪RC 1972 42頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「むつかしくはないヴォケーショナル・サービス」塚本義隆 1976 30頁 [申込先 D.2660 TEL(06)577-2660]
- ◎「ロータリーでいう職業奉仕」神守源一郎 1972 57頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「ロータリー定礎の三人」塚本義隆 1979 42頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「奉仕こそ我が職業」小中義美抄訳編集 1980 85頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「これがロータリー」小中義美 1981 120頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「新編 ようこそロータリーへ」佐藤千壽 1990 87頁 [申込先 東京江北RC FAX(03)3633-8729]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロータリー文庫

会員数および出席報告

第2760地区

出席報告

平成10年7月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
南 尾 張	半田	100	5	71	72	1
	常滑	97.95	5	71	72	1
	東海	96.95	5	59	59	0
	東知多	98.41	4	71	71	0
	半田南	98.51	4	72	72	0
	知多	100	3	41	43	2
	6 RC	98.64		385	389	4
西 尾 張	一宮	99.56	5	90	90	0
	津島	100	5	90	90	0
	尾西	98.92	3	61	63	2
	一宮北	98.98	5	79	80	1
	稲沢	91.82	5	69	69	0
	あま	99.34	3	101	101	0
	西春日井	98.49	4	64	64	0
	尾張中央	100	4	53	53	0
	一宮中央	97.78	5	73	73	0
	9 RC	98.32		680	683	3
東 尾 張	瀬戸	99.76	5	86	87	1
	犬山	100	4	85	86	1
	江南	100	5	74	74	0
	小牧	97.35	5	74	74	0
	春日井	98.98	5	79	79	0
	尾張旭	99.38	5	64	65	1
	名古屋空港	98.99	3	68	67	1
	瀬戸北	99.62	4	69	69	0
	岩倉	95.15	4	41	42	1
	豊山-城北	97.16	4	55	55	0
	10 RC	98.64		695	698	3
西 名 古 屋	名古屋	96.17	4	217	221	4
	名古屋西	96.07	5	145	147	2
	名古屋南	99.16	5	131	133	2
	名古屋港	100	5	124	125	1
	名古屋東南	99.49	5	87	88	1
	名古屋中	99.78	3	163	162	-1
	名古屋瑞穂	97.10	5	100	100	0
	名古屋大須	98.54	5	96	98	2
	名古屋栄	100	3	81	81	0
	名古屋名駅	95.32	5	109	112	3
	名古屋名南	99.68	4	83	83	0
	名古屋西南	100	5	60	59	-1
	12 RC	98.44		1,396	1,409	13

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
東 名 古 屋	名古屋北	99.61	5	110	116	6
	名古屋東	97.20	3	110	111	1
	名古屋守山	94.66	5	81	81	0
	名古屋和合	100	5	113	113	0
	名古屋名東	98.78	4	82	82	0
	名古屋名北	99.72	5	74	76	2
	名古屋千種	99.62	4	70	72	2
	名古屋昭和	99.54	3	73	74	1
	名古屋錦	100	4	66	67	1
	名古屋東山	100	5	56	58	2
	10 RC	98.91		835	850	15
東 三 河	豊橋	99.83	5	126	130	4
	蒲郡	94.06	5	71	72	1
	豊橋北	99.53	4	115	115	0
	豊川	95.52	5	77	82	5
	田原	100	5	71	73	2
	豊橋南	100	3	73	73	0
	新城	99.20	5	67	67	0
	渥美	92.18	5	63	65	2
	奥三河	90.74	3	43	43	0
	豊川宝飯	98.81	4	66	66	0
	豊橋ゴールデン	98.29	5	82	82	0
	田原パシフィック	97.29	4	75	75	0
	豊橋東	100	5	43	43	0
	13 RC	97.34		972	986	14
中 三 河	岡崎	99.80	5	120	120	0
	豊田	98.46	5	94	95	1
	岡崎南	98.98	5	109	110	1
	豊田西	98.26	3	101	101	0
	岡崎東	97.97	5	99	102	3
	豊田東	97.70	5	99	99	0
	岡崎城南	99.01	4	76	75	-1
	豊田三好	98.99	3	35	35	0
	8 RC	98.65		733	737	4
西 三 河	刈谷	100	3	92	96	4
	安城	97.94	5	94	94	0
	西尾	97.76	4	76	76	0
	碧南	99.75	5	85	85	0
	一色	99.60	5	51	51	0
	高浜	98.53	4	54	53	-1
	知立	100	5	62	62	0
	西尾KIRARA	98.89	5	72	72	0
	8 RC	99.06		586	589	3

地域内クラブ数 76RC

'98.7.1 会員数 6,283名

増 加 会 員 数 64名

当 月 末 会 員 数 6,341名

減 少 会 員 数 5名

当 月 平 均 出 席 率 98.50%

差引純増会員数 59名

1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区

地区大会のご案内

1998.11/21(土)・22(日)・23(月・祝)

21世紀への懸橋 シンフォニー 創造と交流の点鐘



マークについて

“21世紀への懸橋”として「夢」「希望」「友情」「愛」……等様々な“心と心の結びつき”が新たな光りを育み、広く浸透していく様子をイメージしました。それと共に、名古屋東南ロータリークラブのテリトリーである名古屋市区と緑区の調和を表現しています。

地区大会スケジュール

11/21(土) 会場/ホテルナゴヤキャッスル

大会本会議第一日

- 10:00 地区諮問委員会 (藤の間)
- 11:30 RI会長代理を囲む昼食会 (天守の間)
- 12:00 本会議登録受付^{*1}
- 13:00 点鐘/黙想 (青雲の間)
- 14:00 ロータリーミーティング^{*2}
テーマ「21世紀への懸橋～本音で語ろう
教育問題～」

- 16:45 点鐘
- 18:00 RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会

*1 大会第一日目の出席義務者は、会長・会長エレクト・幹事・クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報・青少年活動の各委員長です。 *2ご家族の皆様もご参加下さい。

11/22(日) 会場/名古屋国際会議場

大会本会議第二日

- 9:00 本会議登録受付
- 10:00 点鐘/黙想
本会議第1部
- 11:45 昼食
- 12:25 RI会長代理主催 顕彰昼食会
- 13:10 本会議第2部
- 13:50 感謝状贈呈並びに表彰
- 14:30 記念講演
講師: 吉村 作治氏
テーマ: 「エジプト文明からみた地球環境」
- 16:00 講評
- 16:20 点鐘

ファミリープログラム

時間: 11:50～14:15
場所: 白鳥庭園「清羽亭」

11/23(月・祝) 会場/富士カントリー塩河倶楽部

記念ゴルフ大会

- 7:30 登録受付
- 8:00 アウト・イン同時スタート
18ホールズストロークプレー
ダブルペリア方式
- 17:00 パーティ及び表彰式
- 18:00 閉会

登録・宿泊のお知らせ

- 大会登録料……………17,000円(会員)
10,000円(同伴者)
- R.I.会長代理ご夫妻歓迎夕食会
20,000円(お一人様)
- 記念ゴルフ大会……………8,000円(プレイ代別)

・宿泊予約には制限がございます。希望者は早めにお申し込み下さい。
*宿泊費に関しましては、各自ご負担下さい。

ファミリープログラム

大会第2日目11月22日(日)
11:50集合(会議場南・騎馬像前)

白鳥庭園「清羽亭」

徒歩8分ほどで白鳥庭園中ほどに位置する白鳥の舞い降りる姿をイメージした数寄屋造りの茶屋「清羽亭」に到着します。

名古屋在住の第13代松尾流家元、志野流香道第20代家元、花道青雲流家元三宗匠のご指導により、日本伝統文化(茶の湯、聞香、投扇興)に浸っていただければ幸いに存じます。
清らかな水の流れや庭園のたたずまいのなかで、どうぞ雅のひとつときをお過ごし下さい(14:15まで)。

アトラクション

オープニングアトラクション

小さな子供たちによる可愛らしいオープニングダンス
ステージイベント

子供たちによる太鼓等の白熱した演奏・演技

名産品コーナー

地元企業による名産品・物産品を販売

オリジナルフォトシールコーナー

ご来場記念に写真シールをプレゼント



1998～'99年度
国際ロータリー第2760地区・地区大会

地区大会事務局/名古屋東南ロータリークラブ
〒450-0002名古屋市中村区名駅1丁目2番4号
名鉄グランドホテル13階 ROOM No. 312
TEL:(052)533-8787 FAX:(052)533-8702